※令和７年度以降入学生用

学校番号	3029

令和８年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	ディベートディスカッションⅠ	1	1	e ステ（コスモピア）

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

授業では多読を通して英語の土台となる大量のインプットを取り入れつつ、ディベートやディスカッションに必要な論理的にやり取りする力を speaking と writing を通して身につけていきます。多読は reading 力だけでなく総合的な英語力を伸ばすために有効な学習です。毎日少しずつでも取り組むことで１年後には大きな力となります。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・自然な速さで話されるスピーチや会話（３分程度）を聞いて、ポイントをつかみながら内容を理解することができる。 ・様々な学術テーマの会話、スピーチ、講義等においてなじみのない内容でも全体の概要を把握することができる。	・多読等の活動を通じて大量のインプットを取り入れつつ、辞書を使わずとも全体の概要を理解することができる。 ・まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の要旨を理解することができる。 ・難しい部分を読み返すなどしながら、よく知っている分野の説明書や記事などを詳しく理解することができる。	・簡単な英語で、情報や考えなどについて互いに質問したり、質問に答えたりできる。 ・賛成や反対などの自分の意見を論理性に注意して伝えることができる。	・身近なトピックに関して、わずかな時間の準備で、１分程度のスピーチができる。その際には具体的な理由・サポートを添えて自分の意見を述べることができる。 ・一連の簡単な語句や文を使って、意見や行動計画を、理由を挙げて述べることができる。	・段落の構成を意識して、時間をかけた修正を経て、自分の意見をわかりやすく書くことができる。 ・参考文献やインターネットなどから情報を収集し、それをまとめた文章を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
上に示す観点に基づいて、話すこと（やり取り）の領域を評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和７年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	学習内容	評価規準	評価方法
前期	・Self-introduction ・Introduction to paragraph structure ・Writing Practice ・Speaking practice in pairs ・Group discussion ・Extensive reading ・Speaking test for fluency ・Writing test	a.　教員とのやり取りや、多読活動を通して、学校生活や日常生活に役立つ語彙・表現を習得している。 自分の気持ちや考えなどを即興で相手と伝え合い、記述する技能を身に付けている。	・多読 ・ライティング練習
		b.　各テーマについて自分の意見を形成し、それをペアやグループでのディスカッションを通して、より深めることができている。	・スピーキング課題 ・グループワーク観察 ・スピーキングテスト（流暢さ） ・ライティングテスト
		c.　教員や生徒とのやり取り等を通して、言語の背景にある文化について学んだことや、各テーマについての自分の考えを、積極的にペアに伝え合い、それについて主体的に書こうとしている。	・ペアワーク観察 ・ライティング課題
後期	・Logical writing practice ・Speaking practice in pairs ・Group discussion ・Extensive reading ・Speaking test for fluency ・Speaking test for accuracy ・Writing test	a.　教員とのやり取りや、多読活動を通して、学校生活や社会生活に役立つ語彙・表現を習得している。 自分の気持ちや考えなどを即興で相手と伝え合い、記述する技能を身に付けている。	・多読 ・ライティング練習
		b.　各テーマについて自分の意見を形成し、それをペアやグループでのディスカッションを通して、より論理的に深めることができている。	・スピーキング課題 ・グループワーク観察 ・スピーキングテスト（流暢さ・正確性） ・ライティングテスト
		c.　教員や生徒とのやり取り等を通して、言語の背景にある文化について学んだことや、各テーマについての自分の考えを、積極的にペアに伝え合い、それについて主体的に書こうとしている。	・ペアワーク観察 ・ライティング課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度